

エリザベト音楽大学 創立 75 周年記念祝賀会

リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール

2023.11.19 同窓会総会ならびに大学創立 75 周年記念祝賀会を挙行政たしました。

ご来賓の皆さまと同窓生、約 180 名が出席し大学の歩みをとともお祝ひしました。



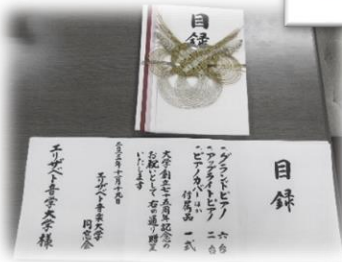
懐かしいお顔と美味しいお料理、楽しいひと時を過ごしました。
お土産には同窓会の『活動のしおり』と『アヴェ・マリアのクリア
ファイル』をお持ち帰りいただきました。皆さま、ありがとうございました。
またいつの日かお会いしましょう。



目録贈呈 募金総額 11,643,630 円



5年間にわたる募金活動が終わりました。ピアノ9台ほかの目録を理事長・学長に渡しました。喜んでいただきました。大役を果たし、肩の荷がおりました。みなさま、本当にご協力ありがとうございました。エリザベト愛を深く感じました。
〈元募金委員会委員長 梶原美智子〉



早速、喜んで練習されています！

コラル“エリザベト、マ ファミュー”の合唱

曲目：フォーレ作曲 Maria.Mater gratiae Ave verum
なかにしあかね作曲 橋爪文作詞 秋の空の上で

私たちはエリザベト音楽大学の同窓生ですので、記念演奏に先ずは宗教曲を選びました。そして「秋の空の上で」の作詞者橋爪文氏は、14歳の時に広島への原子爆弾投下により被爆し、「爆心地 1.6km の被爆少女が世界に伝えたいこと エッセイ集」も出版されています。ゴーセンス神父が原爆投下により傷ついた人々を音楽で癒し元気にしたいという願いを込めて開設された広島音楽学校はエリザベト音楽大学の前身です。その大学創立 75 周年で歌うのにふさわしいこの曲を歌わせていただきました。
〈代表 上野京子〉



♪全員で『アヴェ・マリア』

グレゴリオ聖歌「アヴェ・マリア」は、エリザベト精神、みんなの気持ちを表すもの、ゴーセンス神父の二言め、『一致(イチ)の精神』を表すのも「アヴェ・マリア」みんなで心を込めて歌いました。
〈代表 森佳代子〉



お祝いのメッセージをいただきました

♪ ゴーセンス神父をはじめエリザベト音楽大学で働いたイエズス会員にとって、皆様方が人生の最大の宝です。皆様の上に豊かな祝福と力強い導きがありますようにお祈り申し上げます。〈理事 梶山義夫様〉
♪ 75 周年誠におめでとうございます。ご盛会を祈念しております。〈監事 遠藤秋実様〉
♪ 卒業生の皆様のお陰もあって大学が栄えた事を感じます。〈名誉教授 小池二葉様〉
♪ 75 周年おめでとうございます。遠き地ですが心は近くで喜びに参加致しております。〈名誉教授 山崎陽子様〉
♪ 皆様と心を合わせて、75 周年の感謝とお祝いを申し上げます。〈名誉教授 對馬寛子様〉
♪ 皆様のお顔を思い浮かべております。〈名誉教授 佐藤恭子様〉
♪ 黎明期の創立者ゴーセンス先生と村上清人先生、山本千恵子先生、太田史郎先生はじめ多くの方々のご尽力により今日の礎が作られたこと、その後、テホン先生、ペニテス先生、マクガレル先生、そして今日の川野先生に継承されていること、また理事長の重職にあって私たちを導いてくださいました鎌田先生や小崎先生他、多くの方の手で今日の大学が大きく羽ばたいていきました。お世話になりました一人として心からお礼と感謝を申し上げます。〈名誉教授 伴谷晃二様〉
♪ 卒業生の皆様、それぞれの道で精進されていることと思います。大学で皆様と共に過ごした 38 年がとても懐かしいです。現在、私は日々老い向き合っていて「老兵は死なず、ただ消え去るのみ」の心境にあります。いつも皆様の末長い幸せをお祈りしています。〈名誉教授 片桐功様〉
♪ 皆様にお会い出来ず残念です。盛会を願っています。またご健康をお祈りいたします。〈名誉教授 廣澤久美子様〉
♪ 欠席失礼、お許しください。どうぞ皆様楽しいひと時をお過ごしください。〈名誉教授 廣澤嗣人様〉
♪ 同窓会の皆様のご尽力によりこの記念すべき 75 周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。暖かく家庭的な大学として、これからも益々発展されますようお祈り申し上げます。〈名誉教授 柴田美穂様〉
♪ おめでとうございます。出席できず非常に残念です。大学・同窓会の益々のご発展と、皆様方のご多幸を祈念いたします。〈元同窓会副会長 升田裕子様〉

訂正：8月に発行いたしました同窓会会報『Bel Suono』の創立75周年記念特集号
において、掲載したお祝いメッセージのお名前の表記に間違いがあります。
訂正してお詫び申し上げます。

（誤） 理事 梶山義雄様

（正） 理事 梶山義夫様